

公共事業再評価事業別調査

担当所属	県土整備部	河川砂防課
再評価	未着工	長期継続(10年)
実施要件	その他()	

1 事業の概要

事業種別	砂防事業	事業主体	県	市町村	その他()			
事業名	急傾斜地崩壊対策事業	地区名等	日計1号区域					
事業区分	補助事業等 単独事業	負担区分	国45% : 県45% : 市町村10% : その他					
採択年度	平成5年度(用地着手平成5年度、工事着手平成5年度)*用地費は補償のみ							
終了予定	平成16年度()年 月計画変更<計画時平成16年度>							
事業目的	土砂崩落災害から住民を守る							
主要内容	プレキャスト法枠工 延長L=332m 面積A=9,450m ²							
事業費	採択時総事業費 489百万円 単位:百万円							
		~ 11年	12年	13年	14年	小計	15年~	合計
	計画 (うち用地費) <年月変更>	()	()	()	()	407.5	81.5	489
実績 (うち用地費)	290 (2)	40 (0.5)	40 (0.5)	50 (0.5)	420 (3.5)	69 (1)	489 (4.5)	
その他								

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

AA・A・B・C

事業の進捗状況	単位:%		
		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	事業費割合 (うち用地費)	86 (78)	103 ()
工種毎割合 (主要工種)	(工種名:評価基準)	86	103
説明	全体計画に対する進捗は事業費ベースで86%に達しており、順調に進んでいる。		
問題点・解決見込	なし		
事業効果発現状況	工事が完了した区間は急傾斜地の保力がなされ、工区全体の早期完成が望まれている。		

(2) 社会経済情勢の変化

AA・A・B・C

社会的評価	全国:人命と財産の安全確保の願いから事業に対する要望は大きい 県内:同上である。 地域:当地域では平成11年に五戸町六角沢区域で災害による死者があり、関心が高い			
予算動向	国:公共事業費は減少傾向にある。 県:当該区域における当該事業の重要性を考慮して計画的な事業費を配分している。			
必要性等		計画時	再評価時	左の説明
	必要性	大	大	人命と財産の安全確保
	重要性	大	大	人家15戸と市道の保全
	緊急性	大	大	長大斜面で危険性大
	効率性	大	大	安全と環境に配慮
	その他			
その他	なし			

(3) 費用対効果分析の要因変化

AA・A・B・C

費用対効果分析		計 画 時	再 評 価 時	増 減
	費用 (C)	百万円	559百万円	百万円
	効果 (B)	百万円	853百万円	百万円
	B / C		1.53	
変化内容	費用：事業採択時に費用対効果分析を行っていない。 効果：同上			
B/Cへの影響	同上			

(4) コスト縮減・代替案立案の可能性

コスト縮減の可能性	緑化工を考慮した最も安価なプレキャスト法枠工を採用しているため可能性は低い。
代替案の可能性	一連斜面としての継続性などから可能性は無い。

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

住民ニーズ把握状況	工事説明会及び用地交渉（無償借り受け）の際に住民から意見、要望の聴き取り。
環境影響への配慮	保全法面の緑化を図り環境に配慮している。
地域特性	保全法面上には市道（避難道路）と日計ヶ丘小学校がある。

3 対応方針（事業実施主体案）

総合評価	継続 見直し継続 中止
評価理由	事業の必要性、重要性、また地域の要望の大きさから考慮すると事業の継続が必要である。
備 考	

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針（案）どおり 対応方針（案）を修正すべき
委員会評価	継続 見直し継続 中止
評価理由	
附帯意見	